

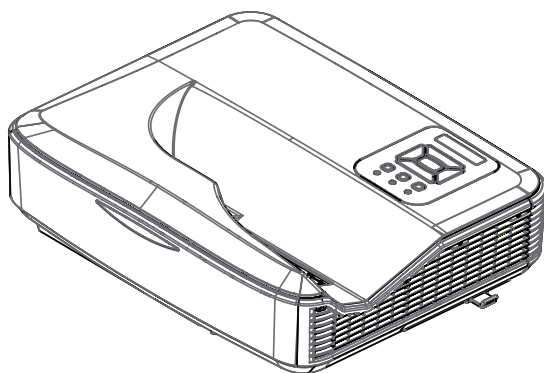
Sakawa

ULTRA WIDE PROJECTOR

フイード

SP-UW360iR

ユーザーマニュアル



インストールガイドの内容を含めた、より詳しい情報を掲載しています。

UserManual_r1.3

目次

目次

はじめに

3 安全上のご注意

6 製品の各部名称

- 6 本体
- 7 コントロールパネル
- 8 入/出力接続
- 9 リモコン
- 11 IRペン

基本的な使い方

12 接続方法

- 12 コンピュータ (PC) への接続
- 13 ビデオソースへの接続

14 設置方法

- 14 投影先についての注意
- 14 プロジェクタの電源を入れる
- 15 プロジェクタの電源を切る
- 16 プロジェクタの高さと台形を調整する
- 17 画角を調整する (ピッチ・ロール・ヨーの調整)
- 18 曲面補正を行う
- 19 プロジェクタのフォーカスを調整する

20 投影距離表

- 20 取付測定チャート [壁取付]
- 22 取付測定チャート [直置き]

便利な機能

- 23 デジタルスライド機能を使う
- 24 PIP – PBP機能
- 24 「PIP (Picture In Picture) 機能」を使う
- 25 「PBP (Picture By Picture) 機能」を使う

設定メニュー

27 オンスクリーンディスプレイメニュー (OSDメニュー)

- 27 操作方法
- 28 映像モード
- 30 スクリーン
- 33 設定
- 34 音量
- 35 オプション
- 37 LAN設定
- 39 インタラクティブ

40 ウェブブラウザを使用してプロジェクタを制御する

IRペンを使う

45 インタラクティブ

- 45 ユーティリティソフトウェアのインストール
- 48 タッチ位置の校正
- 52 トラブルシューティングビューワ

トラブルシューティング

- 53 インジケータの見方



メンテナンス

- 54 ダストフィルターの取付および清掃

付録

- 55 互換性モード
- 59 RS232コマンドとプロトコル機能リスト
- 62 天井マウント設置
- 63 安全上のご注意

安全上のご注意

	警告： この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
	注意： この表示は重要な操作およびメンテナンス（修理点検法など）に関する内容を示しています。



警告： 火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、サービススタッフにご依頼ください。

安全に関する大切な指示

- ・ 通気口を塞がないでください。 프로젝タを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気口を塞がないような場所に設置してください。例えば、飲み物等を置いたままのテーブルや、ソファ、ベッドなどの柔らかいものの上に 프로젝タを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- ・ 프로젝タは、水気や湿気のあるところで使用及び設置をしないでください。 프로젝タを雨や湿気にさらさないようにしてください。火災や感電の原因になります。
- ・ ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- ・ 乾いた布で拭いてください。
- ・ 製造元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
- ・ 物理的に破損している、または不正使用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的な破損/不正使用は、次のような場合をいいます。（但し、これは一部の例です）
 - ・ 装置を落下した
 - ・ 電源装置のコードまたはプラグが壊れている
 - ・ 프로젝タに液体をこぼした
 - ・ 프로젝タを、雨や湿気にさらしてしまった
 - ・ 프로젝タ内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする
- ・ お客様自身でこの 프로젝タを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、感電やその他の危険にさらされます。
- ・ 프로젝タ内部に、異物や液体が侵入しないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- ・ 安全に関係するマーキングについては、 프로젝タの筐体をご覧ください。
- ・ 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。

安全上のご注意

このユーザーマニュアルにあるすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



警告： ランプ点灯中は、プロジェクタレンズをのぞいてはいけません。高輝度の光が目には損傷を与える危険があります。



警告： 火災や感電の原因となるため、本プロジェクタを雨や湿気にさらさないようにしてください。



警告： プロジェクタのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。



警告： 使用中は、リモコン・IRペン・ケーブル及びその他の物が光源の近くにならないようにしてください。至近距離でレーザーが当たると非常に高温になるため、変形したり発火の恐れがあります。

推奨事項

- ▶ 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ▶ ディスプレー筐体は、中性洗剤を軽く湿らせた柔らかい乾いた布で拭いてください。
- ▶ 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項

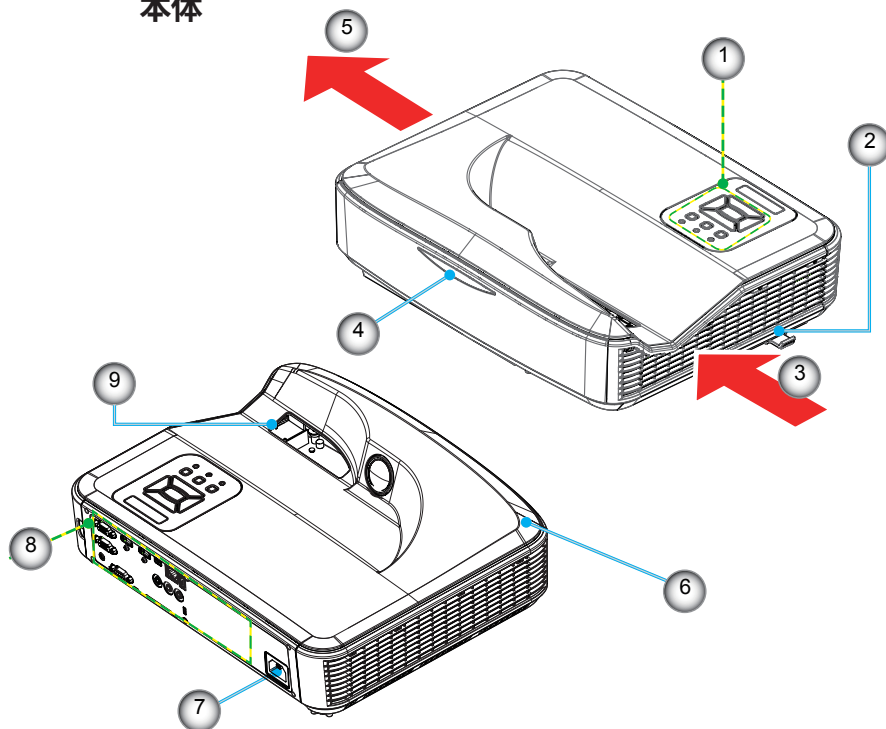
- ▶ 本体の通気用のスロットや開口部を塞がないでください。
- ▶ 本体をの清掃の際は、研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などを仕様しないでください。
- ▶ 以下のような環境下では使用しないでください。
 1. 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所
 - ▶ 海拔0～6000フィート
 - ▶ 極端に暑い：> 35° C
 - ▶ 極端に寒い：< 5° C
 - ▶ 海拔6000フィート以上
 - ▶ 極端に暑い：> 30° C
 - ▶ 極端に寒い：< 5° C
 - ▶ 極端に高湿度：> 70% R.H.（相対湿度）
 2. 大量のほこりや汚れにさらされる場所
 3. 強い磁場を生成する機器の近く
 4. 直射日光の当たる場所

光源ユニットについて

- ▶ 本機的光源ユニットには、レーザーを使用しております。
- ▶ 光源ユニットの寿命目安は、約20,000時間です。ただし、光源ユニットの個体差や使用条件、設定メニューの各設定状態などによって差があります。
- ▶ 光源ユニットが点灯しなくなった場合や、光源ユニットの明るさが著しく暗くなった場合は光源ユニットの寿命です。お買い上げの販売店または修理に関するお問い合わせ窓口に交換をご依頼ください。
- ▶ 本機を分解・改造した場合は、保証および修理の対象外になります。

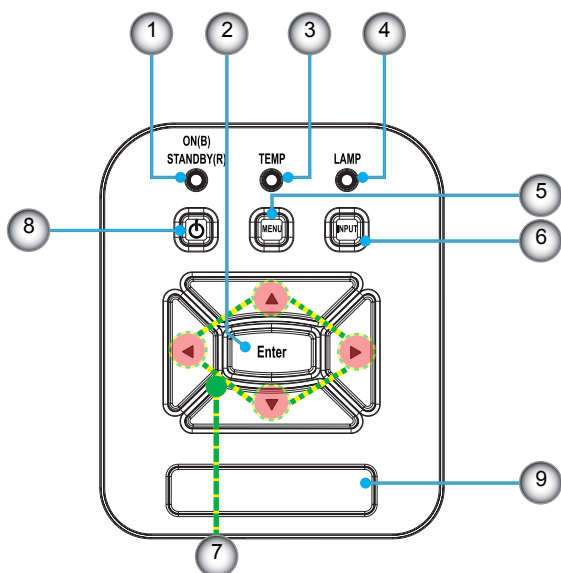
製品の各部名称

本体



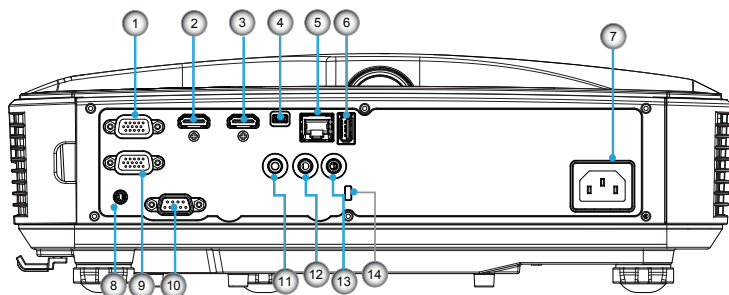
名称	説明
1. コントロールパネル	プロジェクタの電源のオン/オフや、操作を行います。
2. フォーカスレバー	投影映像のフォーカスを調整します。
3. 通気口 (吸気)	内部冷却のために必要な外気を取り入れます。
4. IRレシーバー	リモコン信号の受光部です。
5. 通気口 (排気)	内部冷却のために取り入れた外気を放出します。
6. スピーカー	音声が出力されるスピーカーです。
7. 電源ソケット	電源コードを接続します。
8. 入/出力接続	8 ページの「入/出力接続」をご参照ください。
9. レンズ	プロジェクタの光線が出力されます。※使用時は覗かないでください。

コントロールパネル



名称	説明
1. 電源 (Power) ボタン	14 ページの「プロジェクトの電源オン/オフ」をご参照ください。
2. エンター (Enter) ボタン	項目選択を確定します。
3. 温度 (TEMP) LED	プロジェクトの温度の状態を示すLEDインジケータを確認します。
4. ランプ (LAMP) LED	プロジェクトの光源の状態を示すLEDインジケータを確認します。
5. メニュー (Menu) ボタン	OSDメニューを起動します。OSDを終了するには、もう一度押します。
6. 入力 (Input) ボタン	入力信号を選択します。
7. 4方向選択キーボタン	▲▼◀▶を押して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
8. 電源 (Power) LED	プロジェクトの出力状態を示すLEDインジケータを確認します。
9. 赤外線レシーバー	リモコン信号の受光部です。

入/出力接続



名称

1. コンピュータ入力1 (Dサブ15ピンミニ)
2. HDMI入力2 / MHL (MHL1.3サポート)
3. HDMI入力1
4. USB ミニ B (インタラクティブ機能用)
5. RJ-45
6. USB タイプ A
7. 電源
8. インタラクティブ (3.5mmステレオミニ)
9. コンピュータ入力2 / モニタ出力 (Dサブ15ピンミニ)
10. RS-232 (9ピンDINタイプ)
11. 音声出力 (3.5mmステレオミニ)
12. 音声入力 (3.5mmステレオミニ)
13. マイク (3.5mmステレオミニ)
14. Kensington™ロックポート



- モニター ループスルーは、VGA1-In/YPbPrでのみサポートされます

リモコン

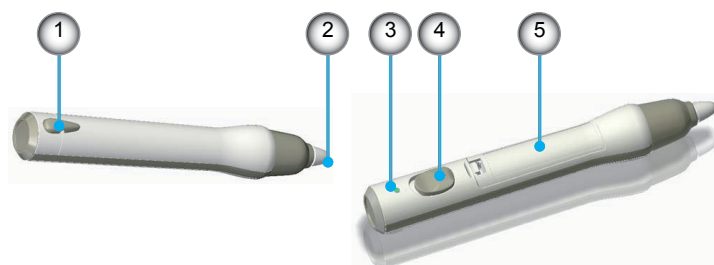


名称	説明
1. 赤外線トランスミッタ	プロジェクタに信号を送信します。
2. LED	LEDインジケーター
3. 電源 (Power) ボタン	14 ページの「プロジェクタの電源オン/オフ」をご参照ください。

製品の各部名称

4. エンター (Enter) ボタン	選択した項目を確定します。
5. 4方向選択ボタン	▲▼◀▶を押して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
6. メニュー (Menu) ボタン	「メニュー」を押してOSDメニューを起動します。OSDメニューを終了するには、もう一度「メニュー」を押します。
7. 終了 (Exit) ボタン	「終了」を押してOSDメニューを閉じます。
8. ズームイン (Zoom+) ボタン	プロジェクタ画面をズームインします。
9. リセット (Reset) ボタン	調整と設定を出荷時設定値に戻します。(ランプカウンタを除きまず)
10. 自動 (Auto) ボタン	プロジェクタが自動的に入力ソースと同期します。
11. 入力 (Input) ボタン	「入力 (Input)」を押して入力信号を選択します。
12. ズームアウト (Zoom-) ボタン	プロジェクタ画面をズームアウトします。
13. 音量 (Volume +/-) ボタン	音量の増減を調整します。
14. キーストーン (Keystone +/-) ボタン	プロジェクタを斜め方向から投影することにより生じる、画像のゆがみを調整します。
15. 画像 (Image) ボタン	デジタルスライド機能。投影映像を「左・中央・右」に移動します。※アスペクト比16:6及び、3:1を選択時は使用できません。
16. ブランク (Blank) ボタン	オーディオおよびビデオを一時的にオフ/オンします。(ブラックスクリーンのオン/オフ)
17. アスペクト (Aspect) ボタン	アスペクト比を変更します。
18. VGA 1 ボタン	「VGA1」を押してVGA IN 1コネクタを選択します。
19. HDMI 1 ボタン	「HDMI1」を押してHDMI IN 1コネクタを選択します。
20. VGA 2 ボタン	「VGA2」を押してVGA IN 2コネクタを選択します。
21. HDMI 2 ボタン	「HDMI2」を押してHDMI IN 2コネクタを選択します。
22. ビデオ (Video) ボタン	「ビデオ」を押してコンポジットビデオソースを選択します。
23. フリーズ (Freeze) ボタン	投影画面を一時停止させます。再度押すと再開します。
24. 数字ボタン	数字入力エリアにて使用します。

IRペン



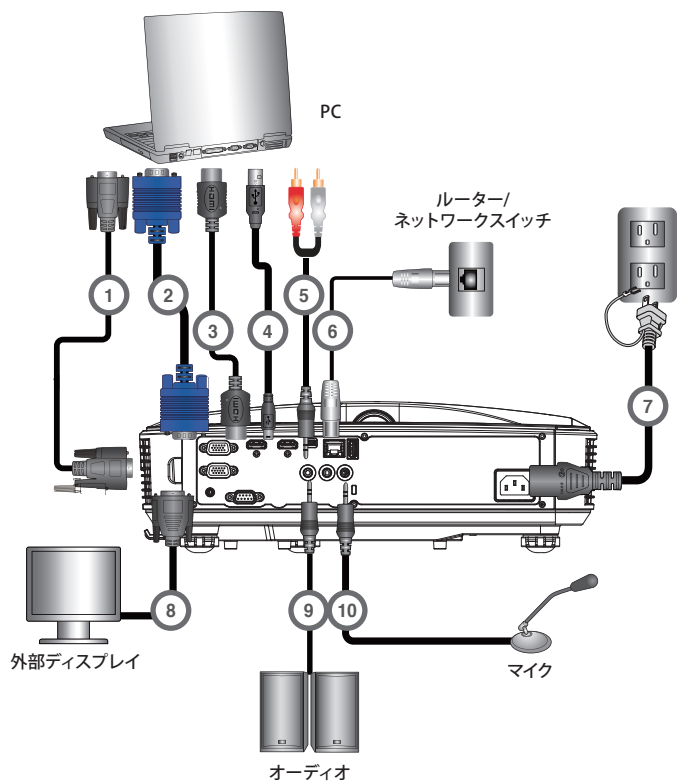
機能	説明	名称
電源管理	電源オン/オフスイッチ	1. ストラップ穴
パワーインジケータ	デュアルカラー（緑/赤）LED	2. ペン先
電池	単4電池（アルカリ） x 1 使用	3. LEDインジケータ
使用時間	18時間（連続使用）	4. 電源スイッチボタン
光源	850 nm IR（赤外線）LED	5. 電池カバー
駆動電流	50 mA/1.5 V（最大）	
カラー	IRペン本体（白色） 飾りストリップ（灰色）	
寸法（長さ x 直径）	150.5 mm（長さ） x 23 mm（直径）	
ペン先	交換用ペン先×8 が付属 ※ユーザーによる交換が可能	
本体材質	プラスチック	
重量	39 g（電池装着時）	

パワーインジケータの見方

状態	電源スイッチ	LEDの状態	説明
通常オン	オフ → オン	2秒間緑色に点灯	
低/バッテリー時オン	オフ → オン	2秒間赤色に点灯	電池残量が不足しています
	オン	赤色に点滅 （ペン先が押されたとき）	
通常オフ	オフ	オフ	

IRペンの使用に必要なユーティリティソフトウェアのインストールにつきましては、別紙「インストールガイド」をご参照ください。

コンピュータ (PC) への接続

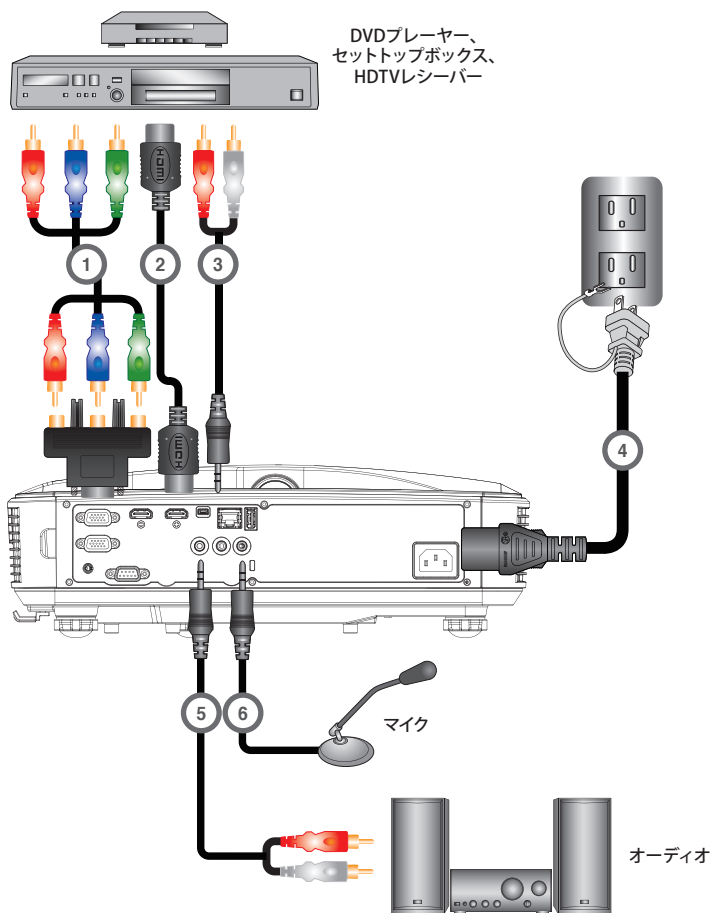


- (*) オプションのアクセサリ

接続ケーブル

1. RS-232ケーブル*
2. VGAケーブル
3. HDMIケーブル*
4. USBケーブル
5. 音声ケーブル*
6. RJ-45ケーブル*
7. 電源コード
8. VGA出力ケーブル*
9. 音声ケーブル*
10. 音声入力ケーブル*

ビデオソースへの接続



• (*) オプションのアクセサリ

接続ケーブル


1. 15ピン - 3 RCAコンポーネント/HDTVアダプタ*
2. HDMIケーブル*
3. 音声ケーブル*
4. 電源コード
5. 音声ケーブル*
6. 音声入力ケーブル*

設置方法

投影先についての注意

ワイードをご使用の際は、映写対応黒板または、映写対応ホワイトボードで使用していただくか、マグネットシートスクリーンに投影して使用されることをおすすめします。使用環境によっては、映写対応黒板および映写対応ホワイトボードやマグネットシートスクリーンに投影した場合でも投影映像が見づらくなる場合があります。

プロジェクタの電源を入れる

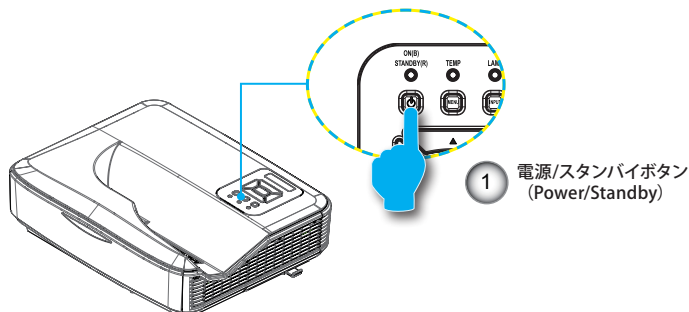
1. 電源コードと信号ケーブルをしっかりと接続します。接続すると、電源 (Power) LEDがオレンジ色で点灯します。
2. プロジェクタまたはリモコンの「」ボタンを押してランプを点灯します。この時点で、電源 (Power) LEDが青色で点灯します。❶
プロジェクタの初回起動時は、「使用言語」と「省電力モード」の選択を求められます。
3. 表示したいソース (コンピュータ、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど) の電源を入れて接続します。プロジェクタは自動的にソースを検出しますが、検出されない場合はメニューボタンを押して、「オプション」を開き、「ソースロック」が「オフ」になっていることを確認します。
 - ▶ 複数のソースを同時に接続している場合は、コントロールパネルの「入力」ボタンを押すか、またはリモコンの「入力」ボタンを押すと、入力を切り換えることができます。




- 電力モードがスタンバイ (待機) モード (消費電力が0.5 W未満) にあるときにプロジェクタが待機状態になると、VGA 出力/入力とオーディオが非アクティブになります





- まず、プロジェクタの電源を入れた後、信号ソースを選択します




プロジェクタの電源を切る

1. リモコンまたはコントロールパネルの「」ボタンを押して、プロジェクタの電源をオフにします。画面上に次のメッセージが表示されます。



確定のためにもう一度「」ボタンを押してください。これを行わないと、10秒後にメッセージ表示が消えます。「」ボタンを二回押しますと、ファンは冷却を開始し、システムはシャットダウンされます。

2. 冷却ファンが冷却サイクルとして約4秒間作動し続け、電源 (Power) LEDがオレンジ色で点滅します。電源 (Power) LEDがオレンジ色で点灯したら、プロジェクタはスタンバイモードに入っています。
プロジェクタの電源を再び入れたい場合、プロジェクタが冷却サイクルを終了して、スタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、「」ボタンを押すだけでプロジェクタを立ち上げることができます。
3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクタから抜きます。

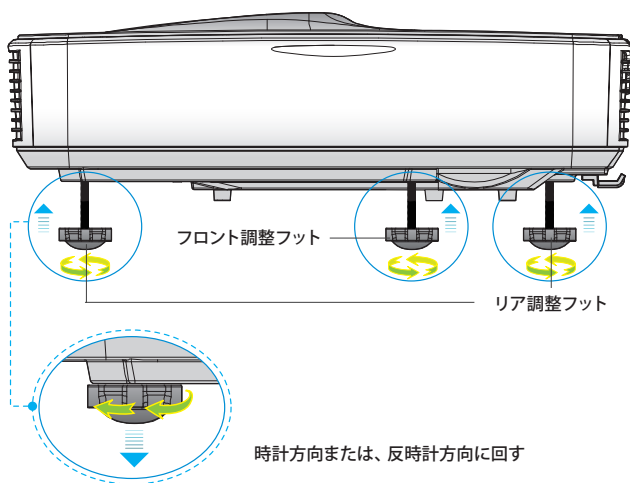
プロジェクタの高さと台形を調整する

本プロジェクタには投影映像の高さ及び台形を調整するための調整フットが付いています。床が水平でない場合などに、調整フットで投影映像の調整を行ってください。

- ▶ 投影映像を見ながら、それぞれの調整フットを時計方向または、反時計方向に回します。

台形の上底が短い場合：フロント調整フットを縮めます。（または、リア調整フット二つを同時に伸ばします）

台形の下底が短い場合：フロント調整フットを伸ばします。（または、リア調整フット二つを同時に縮めます）

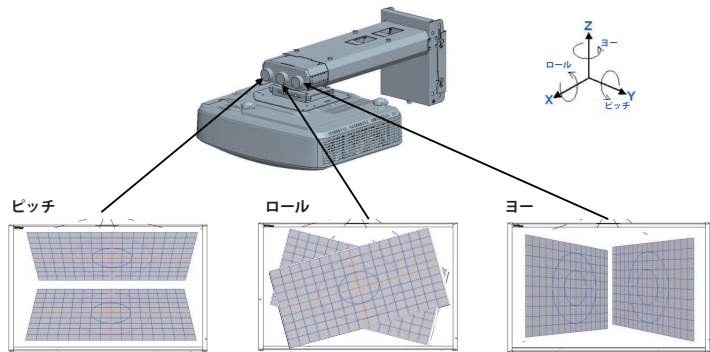


画角を調整する (ピッチ・ロール・ヨーの調整)

画角調整の際はOSDメニューより、「設定」>「テストパターン」を表示すると調整がしやすくなります。

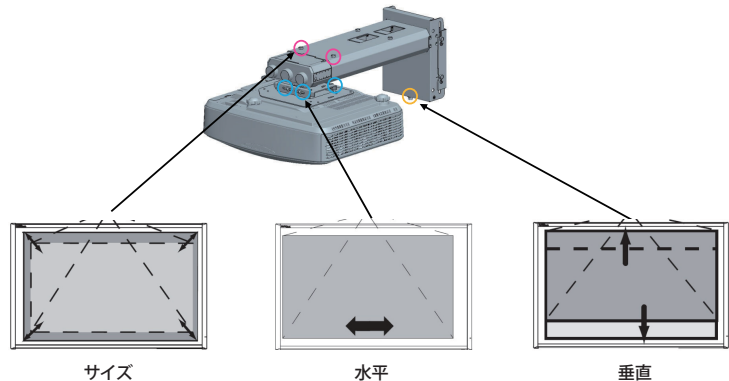
ステップ1: ピッチ、ロールおよびヨーの調整

ピッチ、ロールおよびヨーの調整ノブをまわして、映像がきれいな長方形になるようにします。



ステップ2: 水平、垂直およびサイズ調整

1. 六角レンチを回して映像を垂直方向に調整します。
2. ネジを緩めてプロジェクタを動かして映像を水平方向に調整します。
3. ネジを緩めてプロジェクタを動かして映像サイズを調整します。

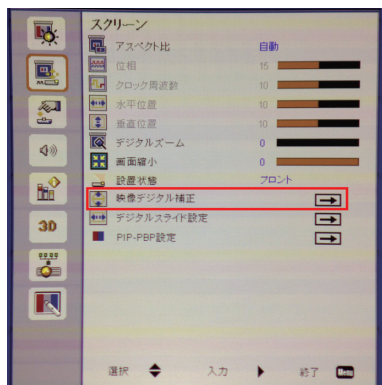


曲面補正を行う

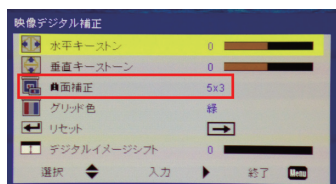
湾曲した面に投影した際に発生する歪みを補正できます。

手順

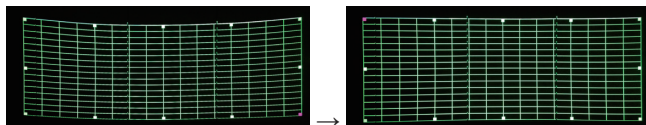
1. リモコンでOSDメニューを開き、「スクリーン」>「映像デジタル補正」を選択します。



2. 「曲面補正」より、「5×3」を選択します。

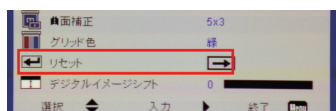


3. グリッドが表示されます。リモコンの矢印キーで調整したい頂点を選択し（決定はエンターボタン）、リモコンの矢印キーで頂点を移動させて映像がきれいな長方形になるように調整してください。



現在選択中の頂点が紫色で表示されます。

4. 設定のリセットは、「リセット」で行います。

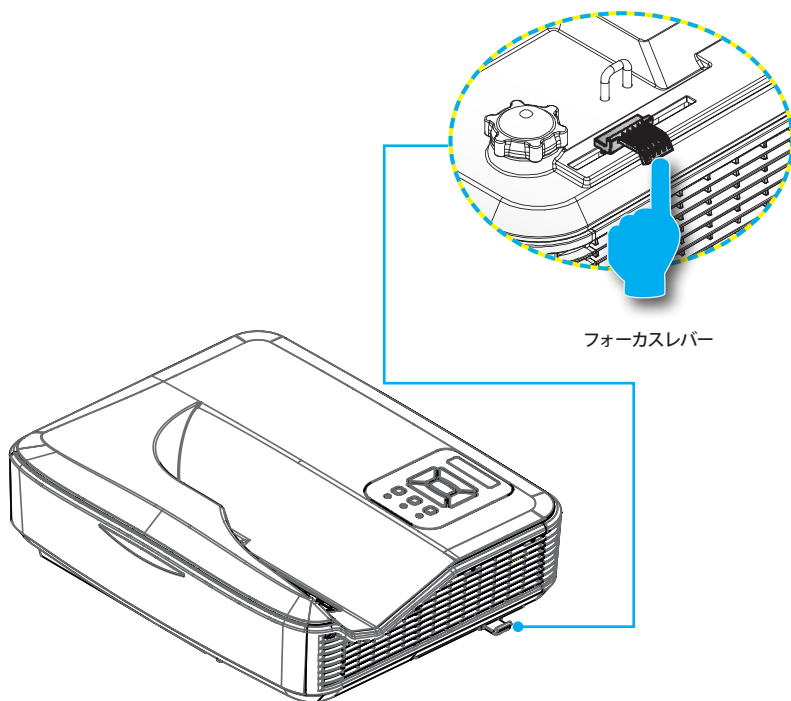


- ・「デジタルスライド設定」をオンにした状態で、アスペクト比を変更すると、設定した曲面補正の設定内容が変更されます。その際は、変更後のアスペクト比で再度曲面補正を行ってください。

プロジェクタのフォーカスを調整する

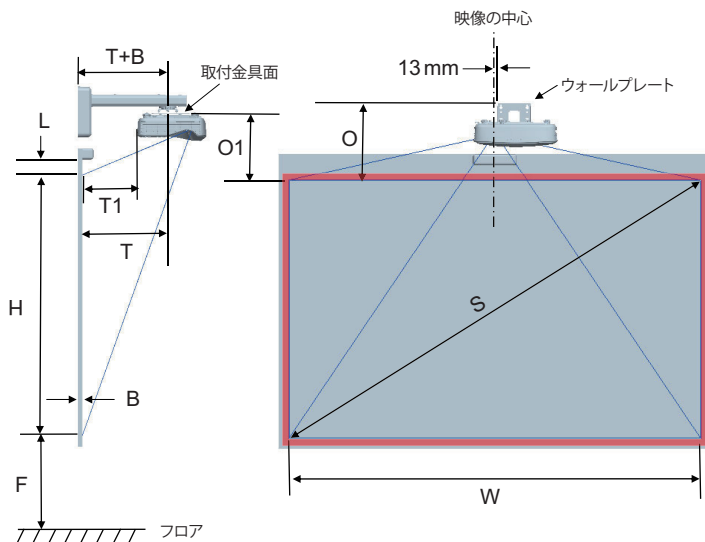
映像のフォーカスを合わせるには、フォーカスレバーを左/右にスライドさせます。

- ▶ フォーカスの合う距離の目安は、レンズから壁まで約0.72 ~ 0.84mの範囲です。



設置業者様へ【必ずお読みください】

- ## 取付測定チャート [壁取付]



注意：映像の周辺は、20mm以上開けてください。※

平面に投影する場合 [画面アスペクト比 16:6 / 壁取付]

[単位: mm]

映像サイズ(S) (インチ)※1	映像幅(W)※1	映像高さ(H)	投影面からプロジェクタ中心までの距離(T)	投影面からプロジェクタの背面までの距離(T1)	映像の最上部から壁プレートの最上部までの距離(O)	映像の最上部から接合突起の最上部までの距離(O1)
120 (86)	2,854 (1,900)	1,070	654	518	490	396
125 (90)	2,973 (1,980)	1,115	689	553	508	411
130 (94)	3,092 (2,060)	1,159	725	589	526	424
135 (96)	3,211 (2,130)	1,204	761	625	544	437
140 (100)	3,329 (2,220)	1,249	797	661	562	451

※1 括弧内の数値は、画面アスペクト比16:9 投影時の目安寸法です。

曲面 (R値21626.62) に投影する場合 [画面アスペクト比 16:6 / 壁取付]

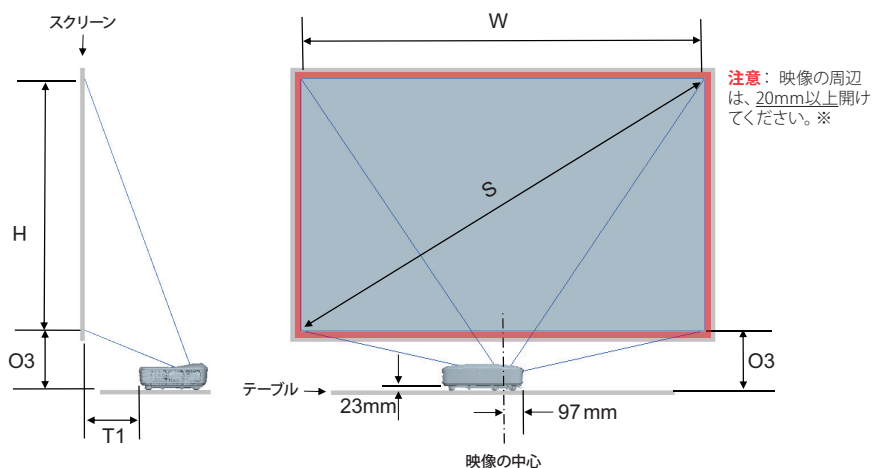
[単位: mm]

映像サイズ(S) (インチ)	映像幅(W)	映像高さ(H)	投影面からプロジェクタ中心までの距離(T)	投影面からプロジェクタの背面までの距離(T1)	映像の最上部から壁プレートの最上部までの距離(O)	映像の最上部から接合突起の最上部までの距離(O1)
120	2,854	1,070	654	518	523	429
125	2,973	1,115	689	553	541	447
130	3,092	1,159	725	589	559	465
135	3,211	1,204	761	625	577	483
140	3,329	1,249	797	661	595	501

※数値は、R値21626.62 (一般的な曲面黒板のR値を参考) の曲面に対し、「曲面補正機能」を使って投影画面をきれいな長方形に調整した際の寸法です。

投影距離表

取付測定チャート [直置き]



平面に投影する場合 [画面アスペクト比 16:6 / 直置き]

[単位：mm]

映像サイズ(S) (インチ)※1	映像幅(W)※1	映像高さ(H)	投影面からプロジェクタの背面までの距離(T1)	映像の最下部からテーブルの最上部までの距離(O3)
120 (86)	2,854 (1,900)	1,070	467	389
125 (90)	2,973 (1,980)	1,115	497	403
130 (94)	3,092 (2,060)	1,159	527	416
135 (96)	3,211 (2,130)	1,204	557	429
140 (100)	3,329 (2,220)	1,249	587	443

※1 括弧内の数値は、画面アスペクト比16:9 投影時の目安寸法です。



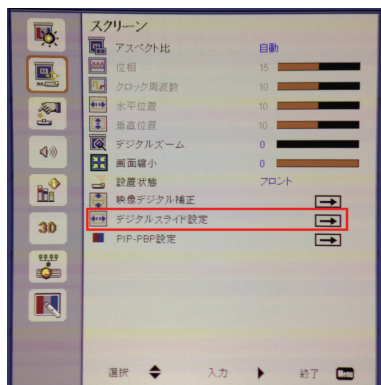
- 数値は参考寸法です。設置の際は、実際に映像を投影しながら調整することをおすすめします。

デジタルスライド機能を使う

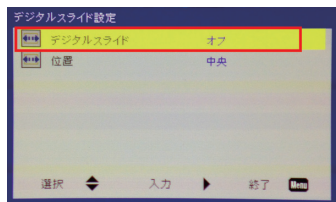
投影画面を左・中央・右に移動できます。板書と併用する際に便利な機能です。

手順

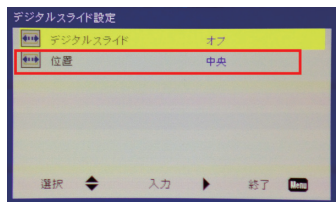
1. リモコンでOSDメニューを開き、「スクリーン」>「デジタルスライド設定」を選択します。



2. 「デジタルスライド」>「オン」を選択します。



3. 「位置」で映像位置を移動できます。



PIP – PBP機能



- 「デジタルスライド」が「オン」の状態では、「PIP – PBP機能」を使用できません。「PIP – PBP機能」を使用する際は、「デジタルスライド」をオフにしてください。

「PIP (Picture In Picture) 機能」を使う

「PIP (Picture In Picture) 機能」とは、メインの画面の中に小さな独立した領域を設けて別系統の映像を出力する機能です。

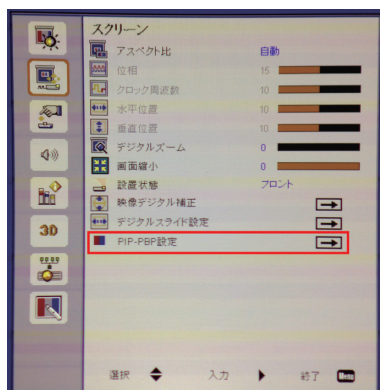


手順

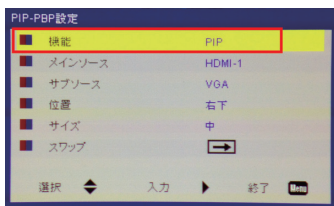
- 画面を出力したい機器2台を映像ケーブルでSP-UW360iR に接続します。
接続例：HDMI1 とHDMI2 または、HDMI1 とVGA
接続機器例：PC、実物投影機、ブルーレイ/DVDプレーヤー、ビデオカメラ
- リモコンでOSDメニューを開き、「スクリーン」>「デジタルスライド設定」より、デジタルスライド設定を「オフ」にします。
- 「スクリーン」>「PIP – PBP設定」を選択します。



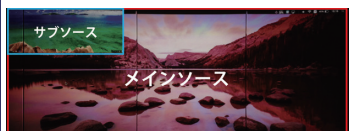
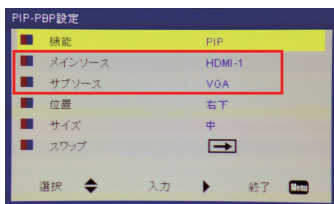
- 「デジタルスライド」が「オン」の状態では、「PIP – PBP設定」の項目がグレースアウトされて選択できません。



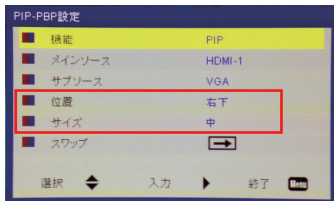
- 「機能」>「PIP」を選択します。



- メインソースとサブソースを確認し、必要に応じて変更します。（「スワップ」を選択すると現在表示されているソースが入れ替わります）

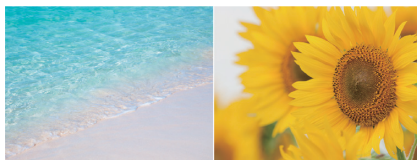


- 「位置」でサブソースの表示位置、「サイズ」で、サブソースの表示サイズを変更できます。



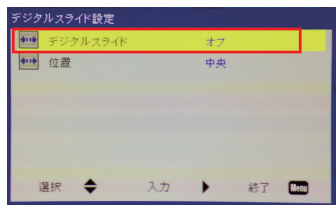
「PBP (Picture By Picture) 機能」を使う

画面を左右均等に分割し、それぞれに別系統の映像を出力する機能です。



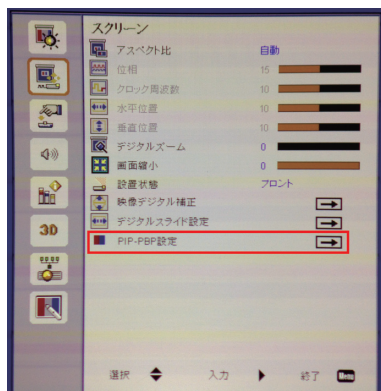
手順

1. 画面を出力したい機器2台を映像ケーブルでSP-UW360iR に接続します。
接続例：HDMI1 とHDMI2 または、HDMI1 とVGA
接続機器例：PC、実物投影機、ブルーレイ/DVDプレーヤー、ビデオカメラ
2. リモコンでOSDメニューを開き、「スクリーン」>「デジタルスライド設定」より、デジタルスライド設定を「オフ」にします。

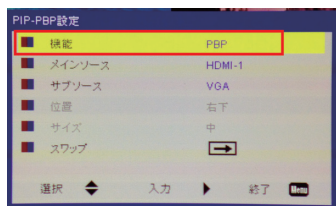


- ・「デジタルスライド」が「オン」の状態では、「PIP – PBP設定」の項目がグレーアウトされて選択できません。

3. 「スクリーン」>「PIP – PBP設定」を選択します。



4. 「機能」>「PBP」を選択します。メインソースとサブソースを確認し、必要に応じて変更します。（「スワップ」を選択すると現在表示されているソースが入れ替わります）

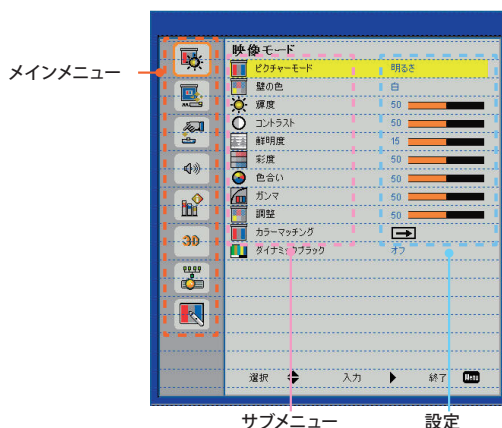


オンスクリーンディスプレイメニュー (OSDメニュー)

多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。

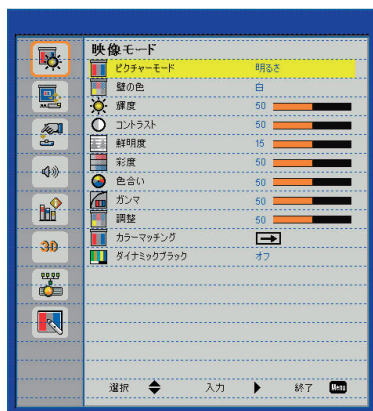
操作方法

1. OSDメニューを開くには、リモコンまたはコントロールパネルのメニュー (Menu) ボタンを押します。
2. OSDメニューが表示されたら、◀または▶ボタンを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、▶ボタンまたは、エンター (Enter) ボタンを押してサブメニューへ進みます。
3. ▲または▼ボタンを使って目的の項目を選択し、◀または▶ボタンを使用して設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. エンター (Enter) ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度メニュー (Menu) ボタンを押します。OSDメニューが閉じられ、プロジェクタは自動的に新しい設定を保存します。



オンスクリーンディスプレイメニュー

映像モード



ピクチャーモード

様々なタイプの画像用に最適化された設定値があります。

◀または▶ボタンを使って項目を選択します。

- ▶ **明るさ**：明るさを重視した設定です。
- ▶ **プレゼンテーション**：カラーの資料を投影するのに最適な設定です。
- ▶ **標準**：バランスの取れた明るさと色調の設定です。
- ▶ **映画**：暗い部屋で映画など動画を楽しむのに最適です。
- ▶ **ブレンディング**：白黒の表現を重視した設定です。
- ▶ **写真**：写真のように鮮明な表示が求められる場合に最適です。

壁の色

壁の色に応じて最適な映像に調整されます。壁の色は、「白」、「ライトイエロー」、「ライトブルー」、「ピンク」および「ダークグリーン」から選択できます。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ▶ ◀ボタンを押すと、画像が暗くなります。
- ▶ ▶ボタンを押すと、画像が明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画像や映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差を調整します。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変化します。

- ▶ ◀ボタンを押すと、コントラストが減少します。
- ▶ ▶ボタンを押すと、コントラストが増加します。

オンスクリーンディスプレイメニュー



- 「鮮明度」、「彩度」と「色合い」機能は、ビデオモードでのみサポートされます。

鮮明度

画像の鮮明度を調整します。

- ▶ ◀ ボタンを押すと、鮮明度が減少します。
- ▶ ▶ ボタンを押すと、鮮明度が増加します。

彩度

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ▶ ◀ ボタンを押すと、画像の彩度が減少します。
- ▶ ▶ ボタンを押すと、画像の彩度が増加します。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ▶ ◀ ボタンを押すと、画像の緑の量が増加します。
- ▶ ▶ ボタンを押すと、画像の赤の量が増加します。

ガンマ

これによってガンマ値を調整して入力に対して良好な映像コントラストを得ることができます。

調整 (色温度)

これによって色温度を調整できます。より高い温度で、画面は寒色系に見え、低い温度で、画面は暖色系に見えます。

カラーマッチング

個々の赤色、緑色、青色、シアン、マゼンダおよび黄色の詳細な調整にこれらの設定を使用します。

ダイナミックブラック

画面内に表示するものがなく画面が真っ暗な状態における、黒色の表現の仕方を変更します。

- ▶ **オン**: 黒色を、ランプの消灯で表現します。(ただし、画面内に1pxでも表示物がある場合、「オフ」の状態で表現されます)
- ▶ **オフ**: 黒色を、黒色の光で表現します。



- 「ダイナミックブラック」をオンにすると、「ガンマ」「カラーマッチング」を除く、映像モードのその他の設定が変更できなくなります。

オンスクリーンディスプレイメニュー

スクリーン



アスペクト比

- ▶ **自動**: 画像本来の幅-高さ比を保持しつつ、ネイティブな水平または垂直ピクセルに合わせて最大表示します。
- ▶ **4:3**: アスペクト比4:3の比率で画面に合わせて表示されます。
- ▶ **16:9**: アスペクト比16:9の比率で画面に合わせて表示されます。
- ▶ **16:6**: アスペクト比16:6の比率で画面に合わせて表示されます。

位相

表示の信号タイミングをグラフィックカードと同期させます。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

クロック周波数

映像に垂直フリッカが生じるときに最適な映像が得られるように調整します。

水平位置

- ▶ ◀ ボタンを押すと画像が左に移動します。
- ▶ ▶ ボタンを押すと画像が右に移動します。

垂直位置

- ▶ ◀ ボタンを押すと、画像が下に移動します。
- ▶ ▶ ボタンを押すと、画像が上に移動します。



- 「水平位置」と「垂直位置」の範囲は、入力ソースに依存します。

オンスクリーンディスプレイメニュー

デジタルズーム

- ▶ ◀ボタンを押すと、画像のサイズが縮小されます。
- ▶ ▶ボタンを押すと、画像のサイズが拡大されます。

画面縮小

- ▶ ◀ボタンを押すと、画像のサイズが縮小されます。
- ▶ ▶ボタンを押すと、画像が元のサイズに向けて拡大されます。

設置状態

- ▶ **フロント**：画像は直接スクリーンに投影されます。
- ▶ **フロント・上下反転**：これがデフォルトの選択です。選択されると画像は上下逆向きに表示されます。
- ▶ **リア**：選択されると、画像を左右逆向きに表示します。
- ▶ **リア・上下反転**：選択されると、画像を上下・左右逆向きに表示します。

映像デジタル補正

- ▶ **水平キーストーン**：◀または▶ボタンで、画像の水平レベルを調整できます。
- ▶ **垂直キーストーン**：◀または▶ボタンで、画像の台形補正を行えます。
- ▶ **曲面補正**：湾曲した面に投影した際に発生する画角の歪みを補正できます。頂点を選択し、▲▼◀▶ボタンで移動して画角を調整します。曲面補正についての詳細は、18ページの「曲面補正を行う」をご参照ください。
 - オフ：曲面補正がかかっていない状態になります。
 - 5×3：調整頂点が、四隅の4点と上下の辺に3点が均等配置されます。
- ▶ **グリッド色**：曲面補正の際に表示されるグリッドの色を変更します。
- ▶ **リセット**：曲面補正をリセットします。
- ▶ **デジタルイメージシフト**：◀または▶ボタンで、画像の上下位置を調整できます。

デジタルスライド設定

- ▶ **デジタルスライド**：「オン」「オフ」の設定を行います。
- ▶ **位置**：◀または▶ボタンで、映像の位置を「左」「中央」「右」に移動します。

※「デジタルスライド」は、アスペクト比4:3 または、16:9 での投影時にのみ使



- ・「デジタルスライド設定」をオンにした状態で、「画面縮小」を行うとIRペンのタッチ位置がずれ、正常に使えなくなります。



- ・「デジタルスライド設定」をオンにした状態で、アスペクト比を変更すると、設定した曲面補正の内容が変更されます。その際は、変更後のアスペクト比で再度曲面補正を行ってください。
- ・映像の幅がプロジェクタの最大解像度の幅と同じ場合、デジタルスライドは使用できません。
- ・「PIP - PBP設定」>「機能」にて、「PIP」または、「PBP」が選択されている状態では「デジタルスライド」を使用できません。

オンスクリーンディスプレイメニュー



- ・「デジタルスライド設定」>「デジタルスライド」が「オン」の状態では「PIP」または、「PBP」を使用できません。

用可能です。

PIP – PBP設定

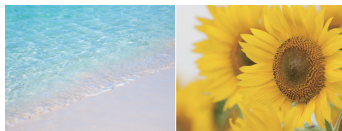
※「デジタルスライド」がオンになっているとこの機能は使えません。(選択できない) 機能を使用する際は、「デジタルスライド」を「オフ」にしてください。

▶ **機能:** 「PIP」「PBP」「オフ」の切り替えを行います。

- **PIP:** メインの画面の中に小さな独立した領域を設けて別系統の映像を出力する機能です。



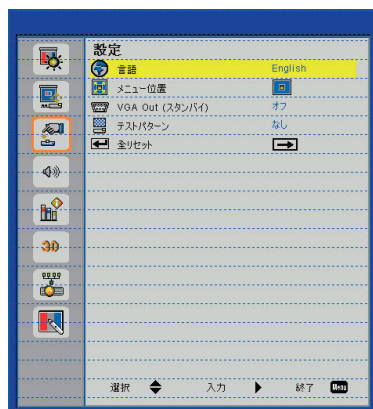
- **PBP:** 画面を左右均等に分割し、それぞれに別系統の映像を出力する機能です。



- ▶ **メインソース:** メインソースの選択を行います。PIPでは、背面の大きいエリアに表示されます。
- ▶ **サブソース:** サブソースの選択を行います。PIPでは、手前の小さいエリアに表示されます。
- ▶ **位置:** PIPのサブソースエリアを「左上」「左下」「右上」「右下」に移動できます。(「機能」にて、「PIP」選択時のみ使用)
- ▶ **サイズ:** PIPのサブソースエリアの大きさを3段階で調整できます。(「機能」にて、「PIP」選択時のみ使用)
- ▶ **スワップ:** メインソースとサブソースを入れ替えます。

オンスクリーンディスプレイメニュー

設定



言語

OSDメニューをご希望の言語に設定します。◀または▶ボタンを押してサブメニューに移動してから、▲または▼ボタンを使って使用される言語を選びます。リモコンの▶ボタンを押すと選択が確定されます。



メニュー位置

OSDメニューの表示位置を選択します。

VGA Out (スタンバイ)

「オン」を選ぶとVGA出力接続が有効になります。

テストパターン

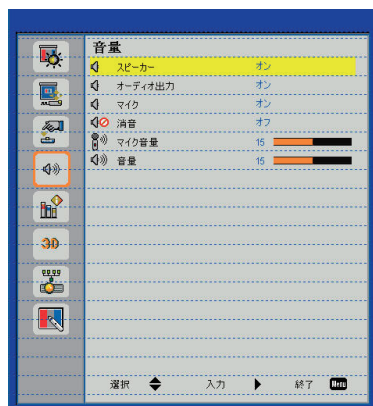
テストパターン「グリッド」または「白」を選択して表示します。

全リセット

「はい」を選択するとすべてのOSDメニューの設定値が工場出荷時の設定に戻り

オンスクリーンディスプレイメニュー

音量



スピーカー

- ▶ 「オン」を選ぶとスピーカーが有効になります。
- ▶ 「オフ」を選ぶとスピーカーが無効になります。

オーディオ出力

- ▶ 「オン」を選択すると、ライン出力機能が有効になります。
- ▶ 「オフ」を選択すると、ライン出力機能が無効になります。

マイク

- ▶ 「オン」を選ぶとマイクが有効になります。
- ▶ 「オフ」を選ぶとマイクが無効になります。

消音

- ▶ 「オン」を選ぶと消音が有効となります。
- ▶ 「オフ」を選ぶと消音が無効となります。

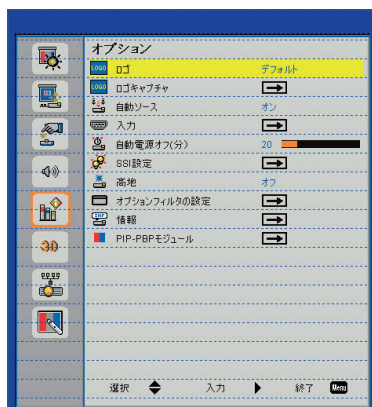
マイク音量

- ▶ ◀ボタンを押すと、マイク音量が下がります。
- ▶ ▶ボタンを押すと、マイク音量が上がります。

音量

- ▶ ◀ボタンを押すと、音量が下がります。
- ▶ ▶ボタンを押すと、音量が上がります。

オプション



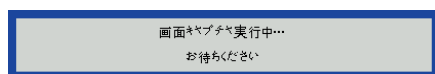
ロゴ

この機能を使用して、必要なスタートアップ画面を設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- ▶ **デフォルト**：デフォルトの起動画面です。
- ▶ **ユーザー**：「ロゴキャプチャ」機能で保存された画像を使用します。

ロゴキャプチャ

- ▶ ▶ボタンを押すと、現在スクリーンに表示されている画像のイメージがキャプチャされます。



自動ソース

- ▶ **オン**：入力信号のある接続を自動で検索します。
- ▶ **オフ**：指定した入力接続のみを検索します。

入力

- ▶ チェックマークを切り替えることで、入力ソースの有効 / 無効が設定されます。

自動電源オフ(分)

プロジェクトへの入力信号が検出されなくなってから自動で電源がオフになるまでの時間を設定します。

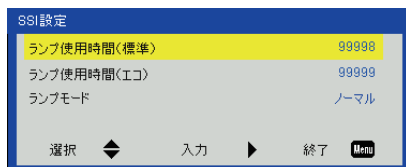


- ・ ロゴキャプチャを成功させるには、スクリーン上の画像がプロジェクトのネイティブ解像度を超えないように注意してください。(UW: 1920x720)。
- ・ この機能を有効にする前に、「縦横比」を「自動」に設定するようお勧めします。

オンスクリーンディスプレイメニュー

SSI設定

それぞれのモードでのランプの使用時間の確認、ランプモードの設定ができます。



- ▶ **ランプ使用時間 (標準)**： ランプモード (ノーマル) での投影時間が表示されます。
- ▶ **ランプ使用時間 (エコ)**： ランプモード (エコ) での投影時間が表示されます。

ランプモード

- ▶ **ノーマル**： 通常モードです。
- ▶ **エコ**： この機能を使うとプロジェクタの光量を減らして、電力消費を低減し、ランプ寿命を延ばすことができます。

高地

- ▶ **オン**： 内蔵ファンは高速回転します。このオプションは、海拔2500フィート/762メートルを超える場所でプロジェクタを使用する際に選択します。
- ▶ **オフ**： 内蔵ファンは内部温度によって自動的に様々な速度で動作します。

オプションフィルタの設定

- ▶ **オプションフィルタ装着済**： 「はい」を選択することで、オプションフィルタの使用時間の計測及びリマインダーの設定が可能になります。オプションフィルタは購入時にすでにセットされています。
- ▶ **フィルタ使用時間**： オプションフィルタの使用時間が表示されます。(単位：時間h)
- ▶ **フィルタリマインダー**： 設定した時間を経過した時にアラート表示
- ▶ **リマインダーの削除**： ダストフィルターの交換または清掃の後に、「はい」を選んでダストフィルター時間数カウンタをリセットします。

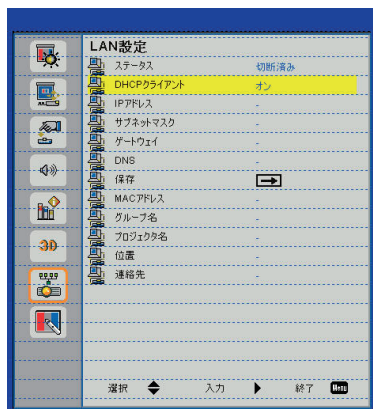
情報

モデル名、SNID、ソース、解像度、ソフトウェアバージョンおよび縦横比といったプロジェクタ情報が表示されます。

PIP – PBPモジュール

管理者用の設定です。通常使用では設定を変更する必要はありません。

LAN設定



ステータス

ネットワーク接続状態を表示します。

DHCPクライアント

DHCP設定を行います。

- ▶ **オン**：プロジェクトがネットワークからIPアドレスを自動的に取得できるようになります。
- ▶ **オフ**：IP、サブネットマスク、ゲートウェイおよびDNS構成を手動で割当てることができます。

IPアドレス

IPアドレスを表示します。

サブネットマスク

サブネットマスク番号を選択します。

ゲートウェイ

プロジェクトに接続されるネットワークのデフォルトゲートウェイを表示します。

DNS

DNS番号を表示します。

MACアドレス

MACアドレスを表示します。

オンスクリーンディスプレイメニュー

グループ名

グループ名を表示します。

プロジェクタ名

プロジェクタ名を表示します。

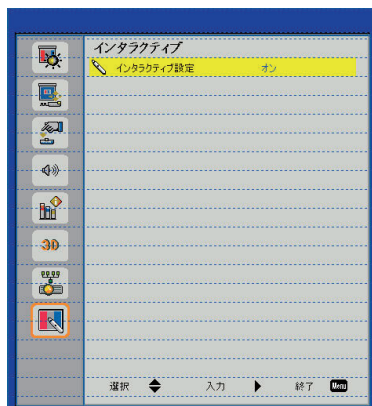
位置

プロジェクタの位置を表示します。

連絡先

問い合わせ先情報を表示します。

インタラクティブ



- 「インタラクティブ」機能は、表示するグラフィックスソースがHDMI/VGA入力の際に利用できます。他のソースには対応していません。

インタラクティブ設定

- 「オン」を選ぶとIRペンによる操作が有効になります。
- 「オフ」を選ぶとIRペンによる操作が無効になります。

OSDメニューでインタラクティブの設定を完了した後に、USBケーブルでコンピューターとプロジェクタを接続します。

IRペンでのタッチ操作について

使用上のご注意

プロジェクタに付いているIRカメラは、IRペンから照射される赤外線信号を受信します。正常に動作させるには、以下の事項に注意してください。

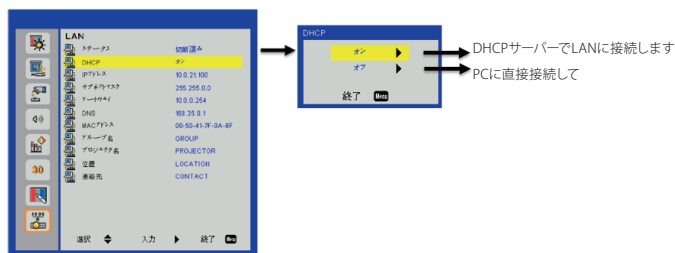
- IRカメラを投影映像に向ける必要があります。
- IRカメラと投影映像との間にある障害物を取り除きます。
- 他の赤外線通信装置、照明機器、住宅用暖房器具などを近くに置かないでください。
- 投影面周辺に20mm以上のフラットなスペースを確保してください。投影面周辺に20mm未満に黒板枠や粉受けがある場合、IRペンの校正及び使用に支障をきたす恐れがあります。
- 同梱のUSBケーブルを使用してください。
- USBケーブルを5m以上に延長するには、認定済みアクティブエクステンションUSBケーブルが必要です。

制御デバイスでのウェブブラウザを介してプロジェクトを遠隔でコントロールすることができます。直接またはネットワーク経由で接続できます。

ステップ1: DHCPをオンにすると、DHCPサーバが自動的にIPを割り当てます。DHCPをオフにすると、手動でIPを入力できます。

ステップ2: 適用を選択し、**OK** ボタンを押して構成プロセスを完了します。

ステップ3: 下記を参考に、プロジェクトのLAN機能からIPアドレスを見つけます。



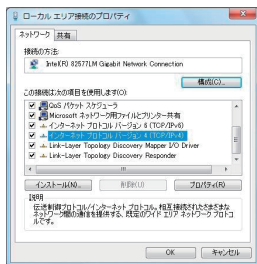
- 40

オンスクリーンディスプレイメニュー

ステップ4: 適用を選択し「エンター」ボタンを押して機能を送信するか、「メニュー」キーを押して終了します。

ステップ5: ネットワーク接続を開始するには、「スタート」>「コントロールパネル」>「ネットワークとインターネット接続」を順にクリックし、「ネットワーク接続」をクリックします。設定したい接続をクリックし、「ネットワークタスク」から、「この接続の設定を変更する」をクリックします。

ステップ6: 「全般タブ」の、「この接続は次の項目を使用します」から、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し「プロパティ」をクリックします。



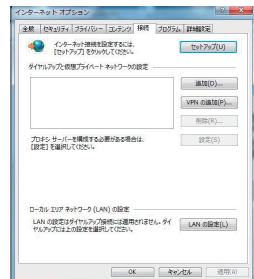
ステップ7: 「次のIPアドレスを使う」をクリックしてから下記のように入力します：

(例)

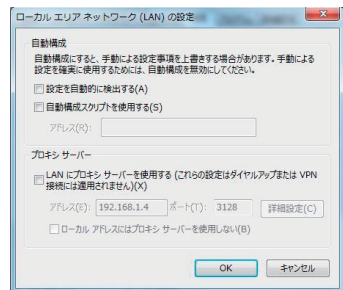
- 1) IPアドレス: 10.0.21.100
- 2) サブネットマスク: 255.255.0.0
- 3) デフォルトゲートウェイ: 10.0.0.254



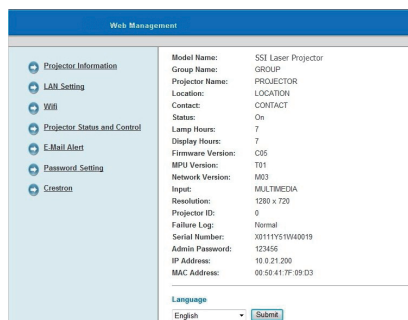
ステップ8: インターネットオプションを開くには、IEウェブブラウザで、「インターネットオプション」をクリックし、「接続タブ」をクリックし、「LANの設定…」をクリックします。



ステップ9: 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」ダイアログボックスが表示されます。プロキシサーバー項目の「LANにプロキシサーバーを使用する」チェックボックスのチェックを外してから「OK」ボタンを2回クリックします。



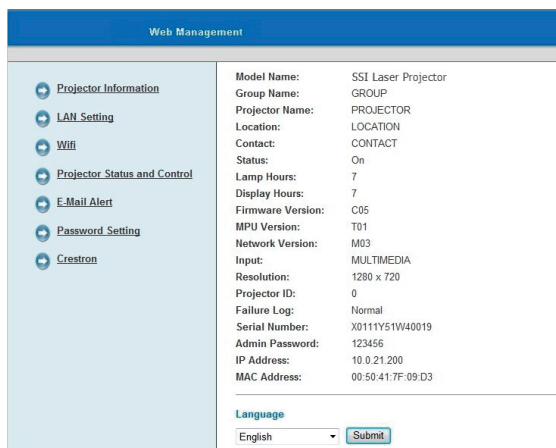
ステップ10: ウェブブラウザを開いて、URLにIPアドレスを入力し、「エンター」を押します。



オンスクリーンディスプレイメニュー

プロジェクタ情報

「プロジェクタ情報」を読み出して各種言語での内容表示を選択できます。



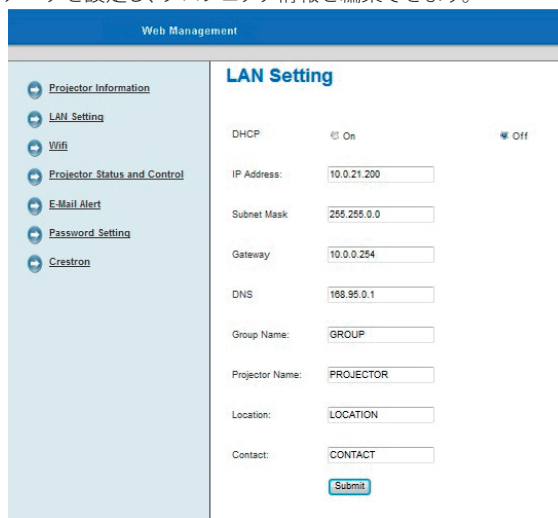
The screenshot shows the 'Web Management' interface with a sidebar on the left containing menu items: Projector Information, LAN Setting, Wifi, Projector Status and Control, E-Mail Alert, Password Setting, and Creston. The main content area displays the 'Projector Information' page. It lists various system details in a two-column format. At the bottom, there is a 'Language' dropdown menu set to 'English' and a 'Submit' button.

Model Name:	SSI Laser Projector
Group Name:	GROUP
Projector Name:	PROJECTOR
Location:	LOCATION
Contact:	CONTACT
Status:	On
Lamp Hours:	7
Display Hours:	7
Firmware Version:	C05
MPU Version:	T01
Network Version:	IM03
Input:	MULTIMEDIA
Resolution:	1280 x 720
Projector ID:	0
Failure Log:	Normal
Serial Number:	X011Y51W40019
Admin Password:	123456
IP Address:	10.0.21.200
MAC Address:	00:50:41:7F:09:D3

Language
English

LAN設定

LANパラメータを設定し、プロジェクタ情報を編集できます。



The screenshot shows the 'Web Management' interface with the 'LAN Setting' page selected. The sidebar on the left is the same as in the previous screenshot. The main content area is titled 'LAN Setting' and contains various configuration fields. The 'DHCP' toggle is currently set to 'On'. Below it are input fields for IP Address, Subnet Mask, Gateway, DNS, Group Name, Projector Name, Location, and Contact. A 'Submit' button is at the bottom right.

LAN Setting

DHCP ☒ On

IP Address:

Subnet Mask:

Gateway:

DNS:

Group Name:

Projector Name:

Location:

Contact:

オンスクリーンディスプレイメニュー

プロジェクトステータスおよびコントロール

プロジェクトをコントロールできます。

Web Management

Projector Information

LAN Setting

Wifi

Projector Status and Control

E-Mail Alert

Password Setting

Crestron

Projector Status and Control

Projector Status

On

Power On

Power Off

Input

MULTIMEDIA

Logo

Default

Orientation

Front

High Altitude

☐ On

☒ Off

Auto Source

☒ On

☐ Off

LASER Power Mode

☒ Normal

☐ ECO

Auto Power Off (Min)

20

(0~120)

Submit

Image Control

Color Mode

PC

Aspect Ratio

Ultra Wide

Video Mute

☐ On

☒ Off

Brightness

49

(0~100)

Submit

Contrast

52

(0~100)

Submit

Clock

0

Submit

Phase

0

(0~31)

Submit

Saturation

50

(0~100)

Submit

Hue

50

(0~100)

Submit

オンスクリーンディスプレイメニュー

Eメールアラート

Eメールアドレスを割り当て、警告通知を分類することができます。

The screenshot shows the 'E-Mail Alert' configuration page. On the left is a sidebar menu with options: Projector Information, LAN Setting, Wifi, Projector Status and Control, E-Mail Alert (selected), Password Setting, and Crestron. The main content area is titled 'E-Mail Alert' and contains the following sections:

- E-Mail Alert:** Includes radio buttons for 'Enable' and 'Disable' (selected), and an 'E-Mail Alert Test' button.
- Fields:** Text input fields for 'TO', 'CC', 'From', and 'Subject' (containing 'NPSI-1').
- SMTP Setting:** Text input fields for 'Outgoing SMTP server', 'Username', and 'Password'.
- Alert Condition:** A list of checkboxes for various error conditions:
 - ☐ System Overtemp
 - ☐ Fan Failure - System 1
 - ☐ Fan Failure - System 2
 - ☐ Fan Failure - System 3
 - ☐ Fan Failure - DMD
 - ☐ Fan Failure - PW
 - ☐ Color Wheel Fail
 - ☐ LASER Error
- Save:** A button at the bottom of the alert condition section.

パスワード設定

パスワードを設定しウェブ管理にアクセスできます。

The screenshot shows the 'Password Setting' configuration page. On the left is a sidebar menu with options: Projector Information, LAN Setting, Wifi, Projector Status and Control, E-Mail Alert, Password Setting (selected), and Crestron. The main content area is titled 'Password Setting' and contains the following sections:

- Instructions:** A paragraph stating: 'Please set your password if you enable this feature for first time. If password is set, you will require to enter with your password upon you connected to the Web Management.'
- Administrator:** Includes radio buttons for 'Enable' and 'Disable' (selected), and a 'Submit' button.
- Fields:** Text input fields for 'Password', 'New Password', and 'Confirm Password', each followed by a 'Submit' button.

インタラクティブ

ユーティリティソフトウェアのインストール

ソフトウェア動作環境

ソフトウェアのインストールの前に、PCが以下の条件を満たしていることを確認してください。

システム要件	
オペレーティングシステム	Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows 10: タッチモード(10 タッチポイント)およびマウスモードに対応(Windows: .NET Framework 4.0 のインストールが必要です) OS X 10.11 El Capitan / macOS 10.12 Sierra
CPU	Intel Core™ i3 またはそれ以上
メモリ	2GB またはそれ以上

インストールの準備

付属のCD-ROM、または、株式会社サカワwebサイト (<http://www.sakawa.net>) からインストーラーをダウンロードし、ユーティリティソフトウェアをインストールします。※付属のCD-ROMに収録されているインストーラーはバージョンが古い可能性があります。なるべく、株式会社サカワwebサイト (<http://www.sakawa.net>) からダウンロードしてください。

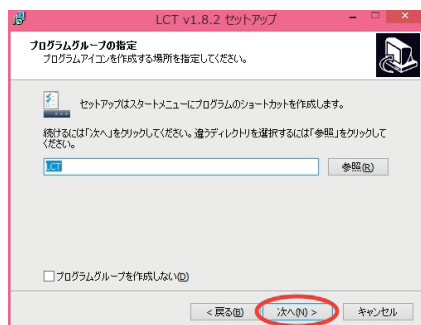
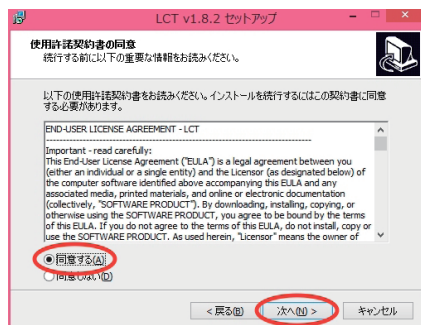
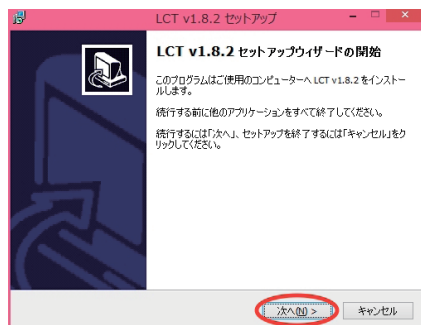
インストールの手順 (Windows PCの場合)

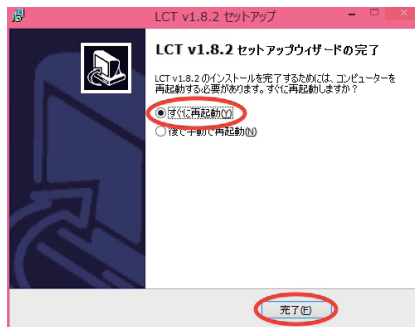
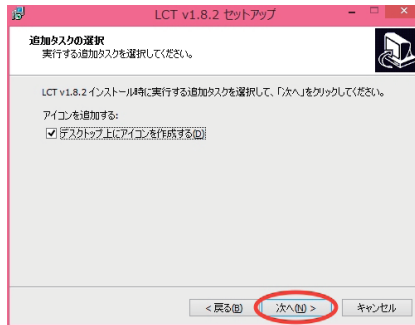
付属CDをPCで読み込み、収録されている「LCTvx.x.exe」を起動します。(収録されているソフトウェアのバージョンによって表記が異なります)

 help	2016/05/31 15:20	ファイル フォルダー
 LCTv1.8.2.exe	2015/10/21 13:21	アプリケーション

インタラクティブ

手順に沿ってインストールを行います。途中の「インストール先」の指定などは必要に応じて変更してください。（通常は手順の通りで問題ありません）





以上で、インストール作業は終了です。インストールが完了すると、PCのタスクトレイに以下のいずれかのアイコンが表示されます。

アイコン	状態
	ワイードとPCが正常に接続されている状態
	ワイードとPCが接続されていない状態

続いて、「タッチ位置の校正」作業を行います。

タッチ位置の校正

IRペンを使用する場合、初回セットアップ時に必要な作業です。以下の作業は、一度行えばプロジェクタ及び板面の位置関係が変わらない限り再度行う必要はありませんが、タッチ位置がずれたと感じた際には、4.の手順、「校正」から、「自動」を選択し、タッチ位置の校正を再度行ってください。

1. 「IRペン&LCTユーティリティソフトウェア」を起動します。



- 必ず投影面の色に合わせて正しく設定してください。「壁の色」の設定が正しく行われていない場合、この後のタッチ位置の「校正」が完了できないことがあります。
- 投影面の色がグレーなどあいまいな場合は、まずは明るさが近い方の色を選択し、「校正」が完了できない場合にもう片方の色を選択し、再度「校正」を行ってください。

2. 「壁の色」を、黒板に投影するのであれば「黒」、ホワイトボードやスクリーンに投影する場合は「白」に設定します。



3. 「タッチエリア設定」から、「自動」を選択します。タッチエリアの検出が自動で実行されます。

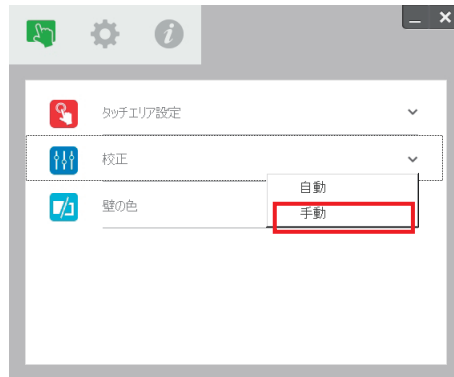


自動タッチエリア設定を行う上での注意

- ▶ 周囲が明るすぎると、設定が失敗することがあります。なるべく周囲を暗くしてから行ってください。
- ▶ フォーカスを調整し、投影映像を鮮明にした状態で行ってください。
- ▶ 自動設定中はレンズを遮らないようにし、本体に振動を与えないようにしてください。

上記の注意点をすべて守っているにも関わらず自動設定が失敗する場合は、タッチエリア設定を手動で行ってください。

4. 「校正」から、「自動」を選択します。(タッチ位置の校正が自動で実行されます。実行中は、プロジェクタ本体を動かさず、また、投影面に影ができないように注意してください)



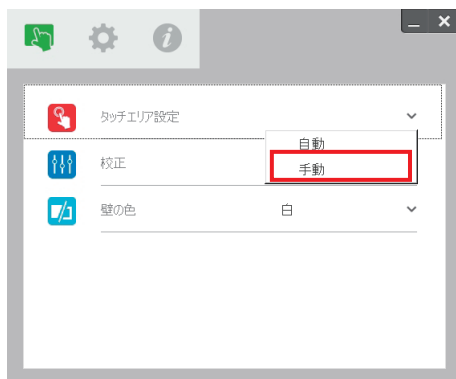
自動校正を行う上での注意

- ▶ 周囲が明るすぎると、設定が失敗することがあります。なるべく周囲を暗くしてから行ってください。
- ▶ フォーカスを調整し、投影映像を鮮明にした状態で行ってください。
- ▶ 自動設定中はレンズを遮らないようにし、本体に振動を与えないようにしてください。

上記の注意点をすべて守っているにも関わらず自動設定が失敗する場合は、校正を手動で行ってください。

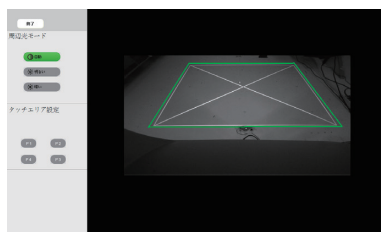
5. 以上でタッチ位置の校正は終了です。

タッチエリア設定を手動で行う



カメラが投影映像をキャプチャすると、[タッチエリア]ウィンドウがポップアップします。キャプチャされた映像が不鮮明な場合、実際の周囲の明るさに従って「周囲光モード選択」を「自動」から「明るい」または「暗い」に選択し直してください。

※キャプチャされた映像は実際のカメラ視野を表しますが、投影映像に対して反転しています。例：P1は右下隅で、P2は左下隅など。



タッチエリア境界の微調整

ステップ1: P1をクリックし、マウスを使ってP1を左上隅にドラッグします。投影される白色フレームに調整可能な緑色領域を整列させます。

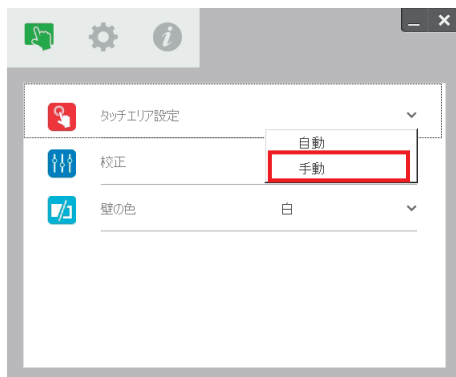
ステップ2: 状況に応じてP2~P4に調整します。調整可能な緑色領域が投影される白色フレームと完全に重なる必要があります。

ステップ3: 最後に、緑色フレームが投影される白色フレームと完全に重なっているかどうか再確認します。そうでない場合、再度微調整します。

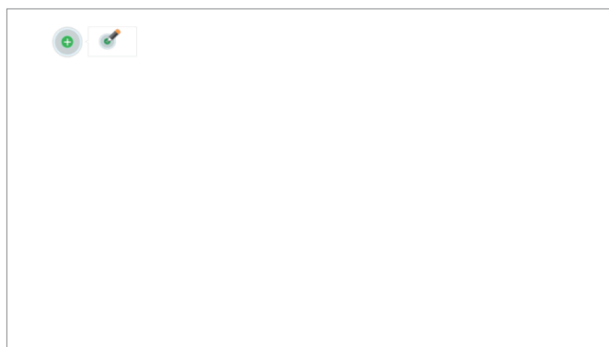
タッチエリアが適切に決まったら、終了をクリックします。

校正を手動で行う

タッチ精度を高めたい場合は、手動校正を推奨します。



順に表示されるマーカの中心を、IRペンでタッチしていきます。



トラブルシューティングビューワ

周囲からの赤外線 (IR光) がタッチ性能に干渉する場合があります。トラブルシューティングビューワは、デバッグ (問題修正) のためにリアルタイム映像を表示します。光の干渉が緑色でマークされます。緑色でマークされた妨害物が映像領域内に表示される場合は、取り除いてください。

注意：トラブルシューティングビューワではIRペンによるタッチが無効になります。クリックして終了してください。

注意：投影面周辺に20mm以上のフラットなスペースを確保してください。投影面周辺に20mm未満に黒板枠や粉受けがある場合、IRペンの校正及び使用に支障をきたす恐れがあります。



付録：仕様

I. 一般仕様	
校正	自動校正 または、手動校正
マルチタッチ	Windows のみ対応 (Mac OS は非対応)
マルチタッチ最小距離	≧40mm
投影映像サイズ	70 ~ 100インチ @ XGA (TR0.25 USTプロジェクタとともに動作) 80 ~ 100インチ @ WXGA (TR0.25 USTプロジェクタとともに動作) 80 ~ 100インチ @ 1080P (TR0.25 USTプロジェクタとともに動作) 120~140インチ@ 16:6超ワイド (TR0.25 USTプロジェクタとともに動作)

インジケータの見方

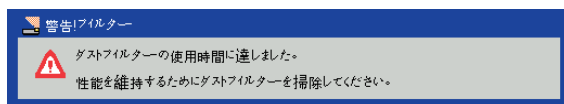
「プロジェクタが起動しない」など、動作がおかしい時は、まずはインジケータランプを確認して対処法を試してみてください。

本機には次の3種類のインジケータがあります。インジケータの色と点灯状態によって本機の状態をお知らせします。

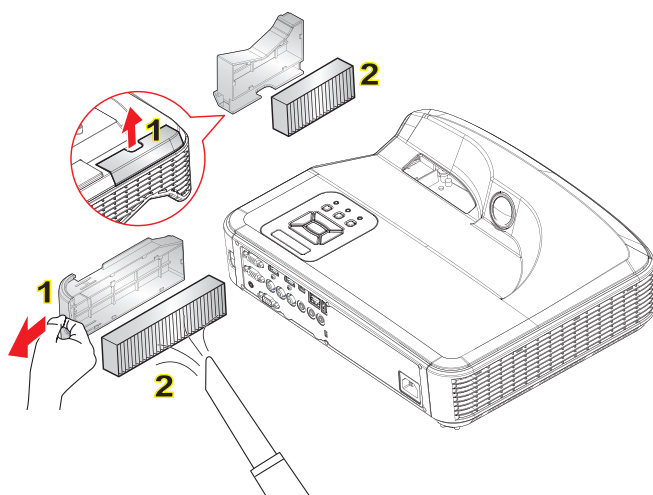
インジケータ			原因または状態	対処法
Power	Temp	Lamp		
 赤点灯	-	-	スタンバイ状態	正常です。
 青点灯	-	-	電源ON	正常です。
 赤点滅	-	-	起動準備中	正常です。
 黄点滅	-	 赤点灯	内部エラー	プロジェクタが自動的にシャットダウンします。頻繁に発生する場合は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」に連絡ください。
-	 赤点灯	 赤点灯	電源エラー	コンセントから電源コードを抜き、3分ほど待ってから再度電源コードをコンセントに挿してプロジェクタを起動してください。
 黄点滅	 赤点滅	-	内部エラー	プロジェクタが自動的にシャットダウンします。頻繁に発生する場合は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」に連絡ください。
-	 3秒間隔の遅い赤点滅	-	ファン異常	コンセントから電源コードを抜き、3分ほど待ってから再度電源コードをコンセントに挿してプロジェクタを起動してください。
-	 0.5秒間隔の速い赤点滅	-	カラーホイール異常	お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」に連絡ください。
-	 赤点灯	-	内部高温異常 (オーバーヒート)	異常ではありません。プロジェクタが高温になると投影を自動停止します。頻繁に発生する場合は、次の2点を確認してください。 タストフィルターの清掃を行ってください。(部品が高温になっていることがありますので十分注意してください) コンセントから電源コードを抜き、3分ほど待ってから再度電源コードをコンセントに挿してプロジェクタを起動してください。
-	-	 赤点灯	光源に関するエラー	コンセントから電源コードを抜き、3分ほど待ってから再度電源コードをコンセントに挿してプロジェクタを起動してください。

ダストフィルターの取付および清掃

500時間の運転毎、または埃の多い環境でプロジェクタを使用する場合は頻繁にダストフィルターを掃除することをお勧めします。画面に警告メッセージが表示されたときは、下記に従ってダストフィルターを掃除してください。



- ・ダストフィルターは常時装着しておく必要があります。
- ・適正なメンテナンスによって過熱とプロジェクタの故障を防ぐことができます。
- ・型式の仕様に関して特定のインターフェースを選択します。



ダストフィルターの清掃手順

1. 「**⏻**」ボタンを押してプロジェクタの電源を切ります。
2. 電源コードを外します。
3. 図に示すとおり、ダストフィルターを引き出します。[図中1]
4. ダストフィルターを慎重に取り外します。次に、フィルターを清掃または交換します。[図中2]
5. フィルターを装着するには、上記手順を逆に行います。
6. ダストフィルター交換後、プロジェクタの電源を入れ、フィルター使用カウンタをリセットします。

互換性モード

VGAアナログ

a. PC信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[KHz]
VGA	640 x 480	60	31.5
	640 x 480	67	35.0
	640 x 480	72	37.9
	640 x 480	75	37.5
	640 x 480	85	43.3
IBM	720 x 400	70	31.5
SVGA	800 x 600	56	35.1
	800 x 600	60	37.9
	800 x 600	72	48.1
	800 x 600	75	46.9
	800 x 600	85	53.7
Apple, MAC II	832 x 624	75	49.1
XGA	1024 x 768	60	48.4
	1024 x 768	70	56.5
	1024 x 768	75	60.0
	1024 x 768	85	68.7
	1024 x 768	120	99.0
Apple, MAC II	1152 x 870	75	68.7
SXGA	1280 x 1024	60	64.0
	1280 x 1024	72	77.0
	1280 x 1024	75	80.0
QuadVGA	1280 x 960	60	60.0
	1280 x 960	75	75.2
SXGA+	1400 x 1050	60	65.3
UXGA	1600 x 1200	60	75.0

b. 伸張ワイドタイミング			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[KHz]
WXGA	1280 x 720	60	44.8
	1280 x 800	60	49.6
	1366 x 768	60	47.7
	1440 x 900	60	59.9
WSXGA+	1680 x 1050	60	65.3
UWHD	1920 x 720	60	44.4
c. コンポーネント信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[KHz]
480i	720 x 480 (1440 x 480)	59.94 (29.97)	15.7
576i	720 x 576 (1440 x 576)	50 (25)	15.6
480p	720 x 480	59.94	31.5
576p	720 x 576	50	31.3
720p	1280 x 720	60	45.0
	1280 x 720	50	37.5
1080i	1920 x 1080	60 (30)	33.8
	1920 x 1080	50 (25)	28.1
1080p	1920 x 1080	23.98/24	27.0
	1920 x 1080	60	67.5
	1920 x 1080	50	56.3

HDMIデジタル

a. PC信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[KHz]
VGA	640 x 480	60	31.5
	640 x 480	67	35.0
	640 x 480	72	37.9
	640 x 480	75	37.5
	640 x 480	85	43.3
IBM	720 x 400	70	31.5
SVGA	800 x 600	56	35.1
	800 x 600	60	37.9
	800 x 600	72	48.1
	800 x 600	75	46.9
	800 x 600	85	53.7
Apple、MAC II	832 x 624	75	49.1
XGA	1024 x 768	60	48.4
	1024 x 768	70	56.5
	1024 x 768	75	60.0
	1024 x 768	85	68.7
	1024 x 768	120	99.0
Apple、MAC II	1152 x 870	75	68.7
SXGA	1280 x 1024	60	64.0
	1280 x 1024	72	77.0
	1280 x 1024	75	80.0
QuadVGA	1280 x 960	60	60.0
	1280 x 960	75	75.2
SXGA+	1400 x 1050	60	65.3
UXGA	1600 x 1200	60	75.0

b. 拡張ワイドタイミング			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[KHz]
WXGA	1280 x 720	60	44.8
	1280 x 800	60	49.6
	1366 x 768	60	47.7
	1440 x 900	60	59.9
WSXGA+	1680 x 1050	60	65.3
UWHD	1920 x 720	60	44.4
c. ビデオ信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[KHz]
480p	640 x 480	59.94/60	31.5
480i	720 x 480 (1440 x 480)	59.94 (29.97)	15.7
576i	720 x 576 (1440 x 576)	50 (25)	15.6
480p	720 x 480	59.94	31.5
576p	720 x 576	50	31.3
720p	1280 x 720	60	45.0
	1280 x 720	50	37.5
1080i	1920 x 1080	60 (30)	33.8
	1920 x 1080	50 (25)	28.1
1080p	1920 x 1080	23.98/24	27.0
	1920 x 1080	60	67.5
	1920 x 1080	50	56.3
d. HDMI 1.4a強制3Dタイミング- ビデオ信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[KHz]
Frame Packing	720p	50	31.5
	720p	59.94/60	15.7
	1080p	23.98/24	15.6
Side-by-Side (Half)	1080i	50	31.5
	1080i	59.94/60	31.3
Top and Bottom	720p	50	45.0
	720p	59.94/60	37.5
	1080p	23.98/24	33.8

RS232コマンドとプロトコル機能リスト

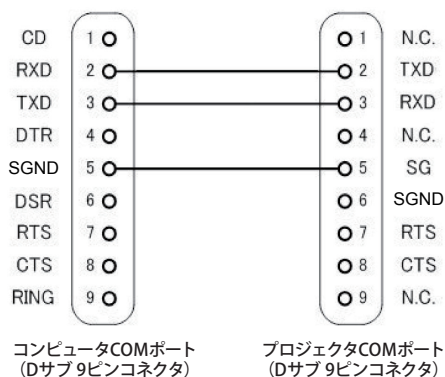
RS232ポート設定

項目	方法
通信方法	非同期通信
ビット/秒	19200
データビット	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし



- RS232シールドはアースされています。

RS232信号接続



コマンドセット一覧

コマンドの説明	ASCIIコード	プロジェクト戻り	n値	注
電源	#0000 n		0: オフ 1: オン	
エミュレート リモート	#0001 n		1: 上 2: 左 3: 右 4: 下 5: メニュー 6: ソース 7: キーストーン+ 8: キーストーン- 9: 音量+ 10: 音量-	
再同期	#0002 1			VGAのみ
AV消音 (ブランク)	#0003 n		0: オフ 1: オン	
フリーズ	#0004 n		0: フリーズ解除 1: フリーズ	
入力ソース	#0005 n		1: VGA 1 2: VGA 2 3: HDMI 1 4: HDMI 2 5: ビデオ 6: マルチメディア	
カラーモード	#0010 n		1: 明るさ 2: PC 3: 映画 4: ゲーム 5: ユーザー	
輝度	#0011 n		0 ~ 100	
コントラスト	#0012 n		0 ~ 100	
シャープネス	#0013 n		0 ~ 31	ビデオのみ
縦横比	#0020 n		1: 自動 2: 4:3 3: 16:9 4: 16:10/16:6	
ズーム	#0021 n		0: ズーム- 1: ズーム+	
キーストーン	#0022 n		-40 ~ 40	
方向	#0023 n		1: 前面 2: 背面 3: 前面天井 4: 背面天井	

言語	#0030 n		1: 英語 2: ドイツ語 3: スウェーデン語 4: フランス語 5: アラビア語 6: オランダ語 7: ノルウェー語 8: デンマーク語 9: 簡体字中国語 10: ボーランド語 11: 韓国語 12: ロシア語 13: スペイン語 14: 繁体字中国語 15: イタリア語 16: ポルトガル語 17: トルコ語 18: 日本語	
メニュー位置	#0031 n		1: 左上 2: 右上 3: 中央 4: 左下 5: 右下	
リセット	#0032 1			
消音	#0040 n		0: オフ 1: オン	
音量	#0041 n		0 ~ 30	
マイク音量	#0042 n		0 ~ 30	
自動電源オフ (分)	#0050 n		0 ~ 120	ステップ = 5
高地	#0051 n		0: オフ 1: オン	
カラーモード読み出し	#00110 1	Okn	n: 1/2/3/4/5 = 明るい/PC/映画/ゲーム/ユーザー	
アスペクト比読み出し	#00120 1	Okn	n: 1/2/3/4 = 自動/ 4:3 / 16:9 / 16:10 (16:6)	
入カソース (curr. src)	#00160 1	Okn	n: 0/1/2/3/4/5/6 = なし/VGA 1/VGA 2/HDMI 1/HDMI 2/Video/マルチメディア	
ソフトウェアバージョン	#00161 1	Okddd	ddd: FW/バージョン	
情報	#00162 1	Okabbbbccdddee	a: 電源状態/b: LD 時間/c: 入力ソース/d: ファームウェアバージョン/e: カラーモード	

天井マウント設置

他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクタを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。

- ▶ ネジの種類：M4 ×4
- ▶ 最小ネジ長：10 mm

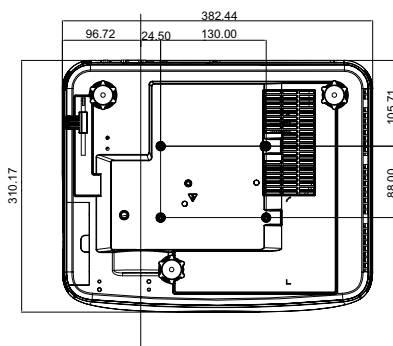
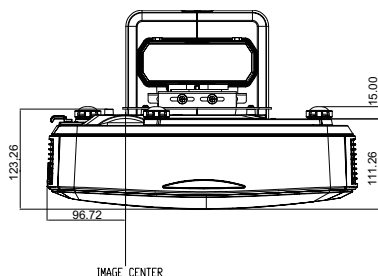


- プロジェクタを正しく取り付けしていないことが原因で発生した損傷に関しては、保証は無効になります。予めご了承ください。

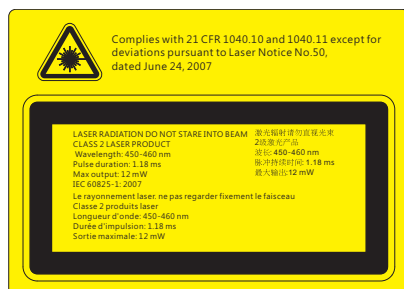


警告：

- 1. 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- 2. プロジェクタの底部と天井の間には、少なくとも10 cmの隙間が開くようにします。
- 3. プロジェクタは、熱源の近くに設置しないで下さい。
- 4. 他社製の天吊りキットを使用してプロジェクタを設置した場合の、プロジェクタの落下事故やそれに伴う怪我などの損害については当社の責任の範囲外となります。



安全上のご注意



警告

- ▶ このプロジェクタは、IEC 60825-1:2007、CFR 1040.10および1040.11準拠のクラス2レーザー装置です。
- ▶ このプロジェクタは、class 4レーザーモジュールを内蔵しています。分解または改造は絶対に行わないでください。
- ▶ ユーザーマニュアルによって特に指示されていない操作または調整でも、レーザーの放射にさらされる危険があります。
- ▶ プロジェクタを開けたり分解しないでください。レーザー光線の暴露によって負傷することがあります。
- ▶ プロジェクタの電源が入っているときにレーザー光線を見つめないでください。明るい光によって目に障害が生じる恐れがあります。
- ▶ コントロール、調整または操作手順に従わないと、レーザー光線の暴露によって負傷する恐れがあります。
- ▶ 組立て、操作およびメンテナンスのための適切な指示に従ってください。この指示にはレーザー光線の暴露の可能性および、クラス2での到達可能な放射制限超過による二次的放射を回避するための安全上の注意に関する警告が含まれます。



廃棄に関する指示: この電子デバイスを処分するとき、ごみ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、本製品をリサイクルしてください。